

履歴書

2024年 06 月 24日現在



ふりがな デン ケイキチ	
氏名 田 慶吉	
1997 年 09月 03日生 (満 26 歳)	男・女
ふりがな キョウトシンシモギョウクシチジョウドオリアイノマチヒガシルザイモクチョウ474パンチ	
メールアドレス dkeikichi@gmail.com	
現住所 〒600-8146 京都市下京区七条通間之町東入材木町474番地 レオパレスポルスター2 305	携帯電話 (+81) 8096615271
E-mail	
ふりがな	
連絡先 〒 (現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入)	連絡先電話

年	月	学歴・職歴（各別にまとめて書く）
		学歴
2015	9	湖南省広益実験中学 高校卒業
2016	4	新宿 KCP 地球市民日本語学校 進学コース 入学
2018	3	新宿 KCP 地球市民日本語学校 進学コース 卒業
2018	4	東京都市大学 知識工学部 情報通信工学科 入学
2022	3	東京都市大学 知識工学部 情報通信工学科 卒業
		職歴
2022	6	AGC 株式会社 ディスプレイ事業 DX 推進室 入社
2023	9	AGC 株式会社 ディスプレイ事業 DX 推進室 退社
2023	10	日本通運株式会社 京都支店 京滋営業開発部(情報システム) 入社
2024	6	日本通運株式会社 京都支店 京滋営業開発部(情報システム) 在籍
		現在に至る

年	月	学歴・職歴(各別にまとめて書く)
年	月	免許・資格
2018	12	日本語能力試験N1
2020	11	TOEIC IP 665点

趣味	ニュースを見ること、散歩すること	扶養家族数(配偶者を除く)	0人
配偶者の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	配偶者の扶養義務	有・ <input checked="" type="radio"/> 無

本人希望欄(特に職種・勤務時間・勤務地・その他についての希望などがあれば記入)
<p>貴社の規定に従います。</p>

# 職務経歴書

2024年06月24日  
田 慶吉

【職歴要約】大学卒業後、私はAGC株式会社に入社し、中国各拠点のIT関連業務を担当。サーバ点検・保守、プリンタトラブル対応、端末初期設定・キッティング、技術文書の翻訳、手順書作成・整理、及びIT基礎教育講師を務める。DX推進のためRPA開発・導入を担当し、Pythonを利用した業務の自動化を実施。その後、日本で働きたいという強い思いで、2023年10月に来日し、日本通運株式会社に転職。同社でRPAおよびバッチスクリプトを使用した業務自動化、Pythonによるデータ処理・分析、EDIデータマッピングを担当し、社内ネットワーク障害への対応やプリンタードライバーの動作確認を含むIT業務全般をサポート。

## 【職務経歴】

日本通運株式会社 2023年10月入社～ 2024年06月在籍

事業内容：日本における業界最大手で、総合物流でトップ。自動車輸送、鉄道輸送、国外海上輸送、航空輸送、国内海上輸送、国内航空輸送、倉庫、移転・引越、美術品輸送な幅広い事業展開している。

設立：1937年 資本金：701億75百万円 売上高：2兆2390億1700万円(2023年12月期連結) 従業員数：34,299名

期間	業務内容
2023年10月～ 2023年12月	<p>■EDI物流データマッピング</p> <p>小売業お客様システムと当社システムを連携すべく、効率的なデータフローを設計し、EDI物流データマッピングツールを活用する。これにより、異なる他社システムともスムーズに連携することが可能となる。具体的には、SAPから日々流れてくる人間が読めないEDI物流データをデータマッピングツールを通じて人間が読めるCSVデータに変換し、またその逆のパターンにも対応。これら一連の業務の設計とメンテナンスを担当する。</p> <p>■バッチスクリプトの開発</p> <p>社内で日々直面するファイル処理などのヒューマンエラーを低減すべく、実行環境に依存しないバッチスクリプトの開発からメンテナンスまでを担当する。具体的には、フル自動でサーバから日々受信したEDIデータをローカルまでダウンロードし、変換を行い、重要なデータをなくすことなくパスごとに整理し、データを保管するよう設計する。</p>
2024年01月～ 2024年06月	<p>■RPA開発</p> <p>UiPathを用いた業務自動化を担当。日々、社内Webサイトからデータをダウンロードし、コンバータを通じて必要な形式に変換し、メールやサーバ経由でお客様からの問い合わせに対して報告する業務を自動化。手間のかかる作業を軽減するためにRPAの開発に着手し、従業員の負担軽減や担当者の離任リスクを低減させることができた。</p>
2024年05月～ 2024年06月	<p>■Pythonデータ処理分析</p> <p>PandasやNumpyを導入し、数万件規模のデータの中身を精査する業務を担当する。具体的には、データのクリーニングや前処理を行い、必要に応じてデータの可視化を実施することで、データの傾向やパターンを明確にし、業務の効率化を図る。これにより、データに基づく意思決定の迅速化や精度向上が実現し、業務プロセスの最適化に貢献する。</p>

【職歴要約】AGC株式会社へ入社後、主にAGC中国各拠点のIT関連全般を担当。具体的な業務内容としては、AGC日本本社と中国各拠点とのコミュニケーション窓口において、サーバ点検・保守、プリンタトラブル対応、端末の初期設定・キッティング等を担った。このほか、技術文書の翻訳、手順書の作成・整理、IT基礎教育講師等も担当。また、各拠点のDXを推進するため、RPA(Robotic Process Automation)の開発・導入を担当し、Pythonを利用した業務の自動化を行った。

【職務経歴】

AGC株式会社(旧・旭硝子株式会社) 2022年06月入社~ 2023年09月退社

事業内容:AGC株式会社は日本を代表する世界最大級のガラスメーカーで、「ガラス」、「電子」、「化学品」、「セラミックス」、「ライフサイエンス」事業を展開する様々な素材を手掛ける会社である。

設立:1950年資本金:90,873百万円売上高:1兆6,974円(2021年度)従業員数:7,223名

期間	業務内容
2022年07月~ 2022年09月	<p>■ 電子決裁システムプロジェクトのプロジェクトマネジメント</p> <p>従来、紙の書類に印鑑を押すことで決裁としていた作業を電子化すべく、電子決裁システムを導入することにした。グループ会社合計5社を統括し、グループ会社各拠点各部署関係者とコミュニケーションをとりながら、進捗状況にこまめに共有することで、最終的に拠点を跨ぐ電子決裁システムを導入した。導入の結果、幹部らが時間・場所によらずに社内決裁ができるようになり、地理的に離れた拠点間でもより効率的に業務を遂行可能となった。</p> <p>■ 社内RPAの開発・導入</p> <p>社内で繰り返し行われる膨大な事務処理作業を削減し、従業員をルーティンワークから解放する目的で、入社してすぐRPAの開発に携わった。結果として、一部業務の自動化を実現し、業務の効率化につなげた。また、各拠点でのRPAの普及に向けた働きかけを行い、ニーズ調査の上で拠点の業務効率化を図った。</p>
2022年10月~ 2023年01月	<p>■ 全社横断でのDX推進</p> <p>グループ会社標準技術仕様書を翻訳し、付け加えて現地に対応した手順書まで仕上げた。グループ会社新規端末のキッティングや初期設定、サーバ保守、各種ハードウェア&amp;ソフトウェアトラブル対応等IT窓口として一般事務から業務サポートまでグループ会社横断でDXを推進する。</p>
2023年02月~ 2023年05月	<p>■ ヘルプデスク</p> <p>中国現地でAGCグループ会社5社、合計で2000人規模のOffice365ヘルプデスク対応しており、各種PCトラブル対応。</p> <p>■ ネットワークトラブルシューティング</p> <p>中国大陸以外のグループ会社と協力し、日本本社、韓国、台湾、中国、香港間の国際通信ネットワーク改善にも参画し、大規模なネットワーク障害が発生時に、速やかに問題を特定し、再発防止や回復するまで通信データを用いた分析を行った。</p>

## 【活かせる経験・知識・技術等】

種類		使用期間	レベル
OS	Windows	10年0カ月	環境設計・構築が可能
	Linux	3年3カ月	環境設計・構築が可能
	MacOS	7年3カ月	環境設計・構築が可能
言語	Python	3年3カ月	基本的な環境構築・改修が可能
	Java	2年3カ月	基本的な環境構築が可能
	Rust	1年1カ月	基本的な環境構築が可能
	JavaScript	2年3カ月	基本的な環境構築が可能

## 【PCスキル】

Excel : 表／グラフの挿入・活用、関数類の理解・活用

Word : 図表／グラフの挿入、校正機能の活用

PowerPoint: プレゼンテーション資料作成、アニメーションの活用

※PCに関する基礎知識はすべて習得しております。

## 【今までチームで直面した問題及びその解決方法】

AGC株式会社では、電子決裁システムの導入プロジェクトを担当し、費用対効果を示すための説明資料を30回修正しながら関係者に納得してもらうアプローチを実施。各拠点や部署を訪問し、直接説明を行い、関係者の意見や要望を取り入れながら、システム導入に成功。柔軟な対応力とコミュニケーション力を発揮し、信頼関係を構築。一方、日本通運株式会社では、EDIデータの取り扱いにおけるデータ互換性の問題を解決するため、データマッピングツールとバッチスクリプトを導入。異なるフォーマット間でのデータ変換を自動化し、ヒューマンエラーを削減。これにより作業効率を大幅に向上させ、データ整合性を確保。両社での経験を通じて、柔軟な対応力、チームリーダーシップ、コミュニケーション力、及びIT業務の最適化に貢献できるスキルを習得。

## 【自己PR】

### <学び続ける能力>

AGC株式会社および日本通運株式会社での経験を通じて、技術面での継続的な成長を実現。複数言語およびコンピュータ言語への深い興味から、高い技術力を身に付ける。それに加え、ITスキルを活用し、日々の業務に生かす。これらの経験は、新しい技術の習得や問題解決に対する自発的かつ効果的なアプローチを探り、継続的な自己成長と組織への貢献を実現。

### <プロジェクトマネジメント能力>

AGC株式会社での電子決裁システム導入プロジェクトでは、プロジェクトの計画立案から実行、運用までを一手に担当。このプロジェクトを通じて、複数の部署やチーム間での調整能力、予算管理、スケジュール管理を駆使し、全拠点の要望を統合。結果として、組織全体の業務効率が向上したことで、プロジェクトマネジメントのスキルを大いに伸ばすことができた。

### <チャレンジ精神能力>

常に新しい課題に挑戦し続ける精神を持ち、困難な状況下でも解決策を見出すことができる。日本通運株式会社でEDIデータの互換性問題に直面した際は、データマッピングツールとバッチスクリプトの導入によって、技術的な壁を克服し、業務効率を大幅に向上させた。これらの経験から、高いレベルでの課題解決能力と、困難に立ち向かう積極的な姿勢が身についている。